

# みずどり 水鳥のいろいろ

函賀奈池は餌となる水草や魚が豊富で、隠れ家となる林の木々の張り出しもあるため、様々な水鳥が集まってきます。特に冬は渡り鳥のカモの種類も増えるので観察してみましょう。



**カルガモ** カモ科

体長60cmほどの一年中見られるカモで、くちばしの先端が黄色になっているのが特徴です。オスとメスは同じ色です。主に水草を食べます。「グエッグエッグ」と溜った声で鳴きます。



**マガモ** カモ科

体長60cmほどのカモで、冬にシベリア方面から渡ってきます。オスは緑色の頭に黄色いくちばしの特徴です。アヒルやアイガモはマガモから改良されました。アヒルのように「グエーグエッグエッグ」と大きな声で鳴きます。



**アオサギ** サギ科

体長90cmほどで日本で最も大きなサギです。アオサギの名がありますが羽はグレーです。池・川・田んぼなど各地の水辺で普通に見られ、時々、「ゴアーツ」などと鳴きます。



**カワセミ** カワセミ科

体長17cmほどでコバルトブルーの羽が美しく、水辺の宝石と言われています。池に張り出した枝や杭に止まっていることが多いので観察してみましょう。「チーッ」と鋭い高い鳴き声は耳に残ります。

## 水鳥の餌のとり方

水草を食べるカモ、魚を食べるサギなど、エサのとり方は様々です。



**カルガモなど**

逆立ちをしながら水草などをたべる。また水面をくちばしですくうようにエサをとる。



**カワセミ**

空中から勢いよくダイビングし、水中で魚をとらえる。



**アオサギ**

ゆっくり歩いたり待ち伏せし、エサをみつけると素早く首をのばしてとらえる。

◆ 様々な餌や環境のある池には、様々な生き物が集まり、生態系が豊かになります。